

第1回

# 識字・日本語学習

# 研究集会 2/28<sup>10:00~16:30</sup> (土)

～よみかきことば・つながるための学習を支援する～

全体会 (10:00~12:00) パネルディスカッション

『識字・日本語学習の課題はなにか』

山下隆史さん

文化庁文化部国語課

黒川優子さん

全国夜間中学校研究会  
事務局

古川正志さん

識字・日本語連絡会

分科会 (13:00~16:30) ※詳細は裏面

場所：大阪教育大学天王寺キャンパス  
西館ホール、その他

対象：識字・日本語教室参加者、夜間中学校  
関係者、行政担当者、市民団体等

定員：150人 参加費：無料 一時保育あり

申込先：大阪教育大学 学術連携課 地域連携係  
申込方法：氏名・連絡先をご記入の上、FAX またはメ  
ールでお申し込みください。

FAX：072-978-3554

メール：[renkei@bur.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:renkei@bur.osaka-kyoiku.ac.jp)

※資料準備の都合上、2/25 までにお申し込みください。

なお、一時保育を希望される場合は、お子様のお  
名前・年齢をご記入の上、2/18(水)までにお申し込み  
ください。

※一時保育対象年齢：6ヶ月～就学前児童



主催：大阪教育大学 教職教育研究センター  
識字・日本語学習研究集会実行委員会

共催：識字・日本語連絡会、おおさか識字・日本語  
センター

後援：大阪府教育委員会 (予定)、大阪市教育委員会  
(予定)、堺市教育委員会 (予定)

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町 4-88

■JR・地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅より 700m。  
JR 寺田町駅より 300m

## 分科会 (13:00~16:30)

### A分科会 『人権としての識字・日本語学習

#### ～生き立ちをつづる、生活をつづる、未来をつづる～』

大阪における識字・日本語学習の特徴のひとつは、人権という観点を土台に据えて展開されていることだといわれます。被差別部落の識字学級や夜間中学校においては、自らの生き立ちや暮らしをつづることが大切にされてきました。現代にあって、また日本語学習にとって、このことはどういう意味を持っているのか。人権という観点から、識字・日本語学習で大切にすべきことを考えます。

### B分科会 『政策とネットワークをめぐる課題

#### ～ネットワークをいかにすすめるか～』

国会では、超党派の議員により「夜間中学等義務教育拡充議員連盟」が設立され、すべての都道府県に1校は夜間中学校を設置することなどを求める法律の制定をめざしています。現在のところ2015年夏までに法律制定が実現する見込みです。その他にも、全国のすべての都道府県に少なくとも1校は公立の夜間中学校を建設することが政策として打ち出されようとしています。こうした政策の動きを把握しつつ、識字・日本語学習活動のネットワークをいかにひろげるかを考えます。

### C分科会 『日本語学習の必要な子どもたちへの支援をめぐる現状と課題』

日本の学校では約8万人の外国人児童生徒（平成22年度）が学んでおり、そのうち日本語学習を必要とする子どもたちが約2万8千人（平成20年度）ほどいます。その子どもたちの学力保障をめぐるさまざまな取り組みが全国各地で行われていますが、課題も多くあります。現在の取り組みを交流するとともに、課題を探ります。

### D分科会 『大阪教育大学天王寺キャンパスに識字・日本語教室を開設する』

大阪教育大学では、第2期中期計画に基づき、早ければ、2016年度秋に識字・日本語教室を開設する計画があります。この計画を具体化するための予備的なワークショップを行い、そのプロセスでさまざまな場所での学級開設の努力を交流し、お互いの知恵を交流します。※本格的な計画づくりは、2015年度開催予定の公開講座「識字・日本語学習ボランティア講座～天王寺キャンパスでの識字・日本語教室開講を例として～」で行います。

